

|               |                                |     |                  |                   |     |      |     |
|---------------|--------------------------------|-----|------------------|-------------------|-----|------|-----|
| 授業科目名<br><英訳> | 漢文学Ⅰ<br>The Chinese Classics I |     | 担当者氏名            | 人文科学研究所 准教授 古勝 隆一 |     |      |     |
| 群             | 人文・社会科学系科目群                    | 系列  | 芸術・言語文化系（基礎論・文学） |                   |     |      |     |
| 旧群            | A群                             | 単位数 | 2単位              | 週コマ数              | 1コマ | 授業形態 | 講義  |
| 開講期           | 前期                             | 曜時限 | 金3               | 配当学年              | 全回生 | 対象学生 | 全学向 |

#### [授業の概要・目的]

この授業では『孟子』を読む。『孟子』は、戦国時代の儒家、孟子の言行録であり、「惻隱の心は仁の端なり」「聖人と我とは類を同じくする者なり」といった名言を多く載せ、また「五十歩百歩」「助長」「往く者は追わず、来る者は拒まず」などの故事成語の淵源としても知られる。

『孟子』の中でもっとも精彩に富むのは、なんといっても問答の部分である。孟子は諸侯や弟子たちなど、多くの人物と対話しているが、そこに見える孟子のことは実に生き生きとしている。人間がことばを交わすという行為自体、二千数百年前の孟子の時代も、我々が生きる現代も、少しも変わらない。変わらないことに驚きを覚えもするし、また孟子の語り方にも感心させられることがしばしばある。この授業では、『孟子』に見える優れた問答を抜粋して読むこととする。

このような読書体験を共有し、漢文をより自由に読みこなす読解力を高めること、それがこの授業の目的である。

後期に開講される「漢文学Ⅱ」（担当教員：古勝隆一）をあわせて受講することがのぞましい。

#### [授業計画と内容]

本期においては、『孟子』に収める以下の問答を読解する。一章あたり、二週間程度の速度で読み進める予定。

- 「梁惠王曰寡人之於国也」章（梁惠王上）
- 「齊宣王問曰齊桓晉文之事」章（梁惠王上）
- 「莊暴見孟子」章（梁惠王下）
- 「齊宣王問曰人皆謂我毀明堂」章（梁惠王下）
- 「公孫丑問曰夫子当路於齊」章（公孫丑上）
- 「公孫丑問曰夫子加齊之卿相」章（公孫丑上）
- 「沈同以其私問」章（公孫丑下）
- 「孟子致為臣而歸」章（公孫丑下）

漢文を読むには漢語を知らなければならないから、この授業では漢語についてはできるだけ詳しく解説するつもりであるが、受講者がみずから辞書を引いて分かることまでは説明しない。それゆえ予習段階で辞書を丹念に引いて、分かる部分と分からない部分とを明らかにしておくことを求める。

そのために、予習しやすいプリントを準備する予定である。

#### [履修要件]

毎回予習をする余裕のある者。印刷された漢和辞典を用意する意思のある者。

## 漢文学Ⅰ(2)

### [成績評価の方法・基準]

平常点（出席状況および発表）と期末試験によって評価する。

### [教科書]

初回にプリントを配布する。

### [参考書等]

（参考書）

授業中に紹介する

漢和辞典について、初回の授業中に紹介する。

### [その他（授業外学習の指示等）]

オフィスアワー：月曜日の3時から4時まで。